



Total Rehabilitation

Physical Therapist
Occupational Therapist
Speech-Language-Hearing Therapist



社会医療法人
愛仁会

<http://www.aijinkai.or.jp>



愛仁会グループ
募集案内

理学療法士
作業療法士
言語聴覚士



明石医療センター



明石医療センター附属看護専門学校



特定医療法人蒼龍会 井上病院



介護老人保健施設ひまわり



社会福祉法人 愛和会 (豊中地区)



介護老人保健施設つくも



尼崎だいまつ病院



介護老人保健施設だいまつ



介護老人保健施設ユーアイ



千船病院附属千船腎臓・透析クリニック



カム尼崎健診プラザ



千船病院



さまざまな病期・症状・疾患に対応し、包括的・的確なサービスを提供します。

トータルリハビリテーションを
実践するグループネットワーク。
ここには、さまざまな領域で活躍している
プロフェッショナルがいます。

愛仁会グループは昭和33年11月の医療法人設立認可以来、60余年にわたり地域に根ざした積極的な医療・保健・福祉活動を実践し、地域の信頼をもとに成長してきた社会医療法人です。

それぞれの施設は独立した指針に則って運営される一方で、互いのネットワークも大切にしており、法人全体で連携を取りながら行われる研修や勉強会も少なくありません。外部学会参加への支援も積極的で、リハビリテーションのプロフェッショナルとして伸び伸びと成長できるフィールドを提供しています。



社会福祉法人 愛和会 (宝塚地区)



愛仁会看護助産専門学校



愛仁会総合健康センター



介護老人保健施設ケアアイ



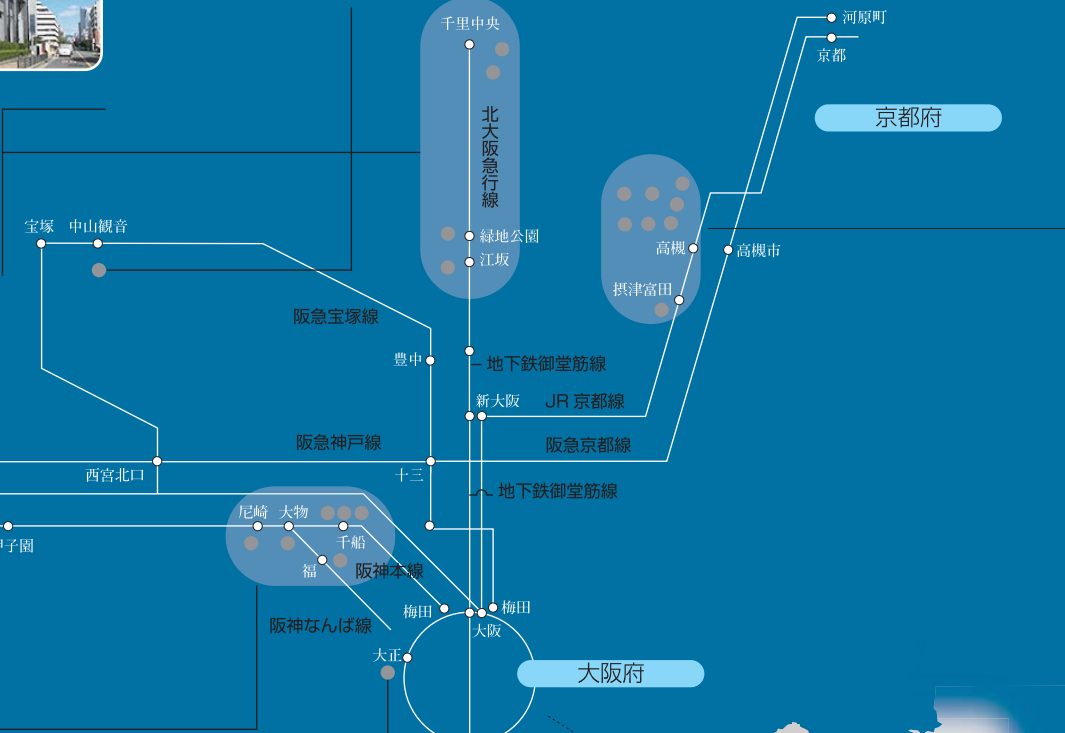
しんあい病院



しんあいクリニック



介護老人保健施設しんあい



愛仁会リハビリテーション病院



高槻病院



介護付有料老人ホーム スローライフおかじま



愛仁会グループの療法士として目指すもの

愛仁会グループ各施設においては、その地域性や施設特性により療法士に求められる能力も多様化しています。そのため、専門職として充実したサービスを提供するには、常に専門性の向上を目指した努力が必要です。

現況では施設の機能分化等により、患者・利用者における障がい像の縦断的経験が難しくなっていますが、愛仁会グループの療法士は、どの病期であっても、患者・利用者の障がい像を的確に判断し「活動」「参加」に繋がる適切な支援ができることを目指します。

共に包括的リハビリテーションの推進を

愛仁会グループは、超急性期・急性期から回復期・慢性期・療養期、さらには在宅に至るまであらゆる領域・局面に対応可能な医療・介護施設を有し、それぞれの地域で医療・介護・福祉サービスを提供する「トータルヘルスケア」を実践しています。そこではグループ内施設間にとどまらず、各地域の医療機関や介護・在宅系施設との連携構築にも努めており、少子・超高齢化社会に対して国の目指す包括的ヘルスケアシステム構築に向け努力を重ねています。

とりわけリハビリテーション医療は超急性期から生活期に至るすべての領域・局面で提供されており、今後の需要・必要性はさらに増していくものと予想され、私たちはリハビリテーションに関する教育研修や研究も先導して行っています。特に新入職員のセラピストに対しては、卒後1年目より愛仁会グループが独自に作成した「リハビリテーション部門教育ガイドライン」に則り、超急性期から生活期に至る様々な臨床現場で私達スタッフが温かく指導できる環境も整っています。

研究・学術活動への参加も積極的に推進していますので、ぜひとも私達愛仁会グループの一員として活躍されることをスタッフ一同期待しております。



愛仁会グループリハビリテーション部門 統括責任者
愛仁会リハビリテーション病院院長
大阪府地域リハビリテーション地域支援センター長
吉田 和也

年間スケジュール

教育・研究への支援体制も充実

愛仁会グループは常にスタッフの教育・研究支援に力を注いできました。定期的な研修会や勉強会は質量ともに豊富です。外部の学会・学術大会への参加・演題発表にも支援を惜しみません。また、やりがいを生み出すためには、日々患者さまと心豊かにふれあい、スタッフ間の連携を通してスキルアップできる環境が大切です。多様なコミュニケーションの場をつくり、若い皆さんが積極的に先輩や仲間たちと語り合えるよう、私たちは努めています。



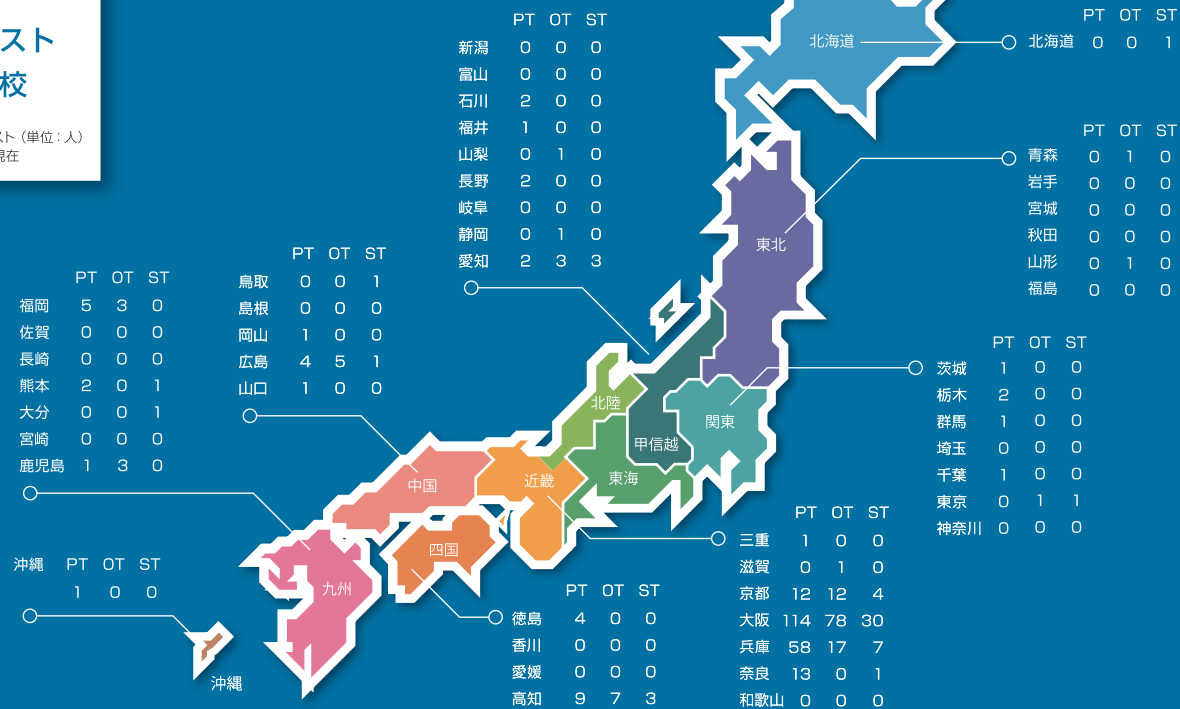
年に2回の施設での褒賞式ならびに懇親会



年2回、ホテルにて施設で活躍した方を褒賞しています。その後の懇親会では、施設の仲間と楽しい時間を過ごしています。

セラピスト出身校

都道府県別リスト (単位:人)
2017年4月現在



新人スタッフからのメッセージ

Newcomer



Physical Therapist

愛仁会では新人教育制度に力を入れており、研修や定期的な勉強会によってセラピストとしての知識・技術の向上はもちろん、社会人としても成長することができます。また、整った設備を活かして患者様にベストな治療を提供することができます。新人職員ならではの悩みもありますが、優しい先輩方や切磋琢磨できる同期と共に充実した日々を過ごしています。

加藤 正悟 (理学療法士)



Occupational Therapist

愛仁会では急性期・回復期・生活期といった様々な方と関わることができます。また新人教育制度が充実しているため1年間の研修の中でたくさんの知識が得られます。教育研修科に併診を依頼することもでき、幅広い分野を経験した先輩からの指導やアドバイスのもと、患者さまの自宅復帰を目指して日々を過ごしています。

奈木 咲良 (作業療法士)



Speech-Language-Hearing Therapist

急性期、回復期、生活期だけでなく小児分野へも言語聴覚士が携わることができると知り、入職を決めました。現在は成人領域で経験と知識を積み重ねています。愛仁会では新人教育制度が充実しており、様々な知識を得る機会が豊富にあります。また、先輩方は臨床に対して熱心なため、日々良い刺激を受けています。

井下 雅恵 (言語聴覚士)

リハビリテーション科指導医からのメッセージ

新しく入職される諸君に

Comment from a doctor

愛仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション科指導医 住田 幹男

リハビリテーション科指導医として36年が経ち、いろいろなりハビリテーションチームと関わってきましたが、今ほど地域に根差したリハビリテーション医療が問われている時代はありません。かつての整形外科後療法時代から、今はあらゆる疾患・障がいに関与することが求められています。重症事例も増加し、リスク管理も多職種が協働して行っていく時代です。一つの障がいは、一宇宙のような広がり深さを私たちに求めています。広く浅くではなく、新生児から老人までの障がい・疾病を持った人たちに私たちはあらゆる工夫を尽くして関わっていきます。私たちと一緒にやっていきませんか。



高槻病院 リハビリテーション科指導医 櫻 篤

高槻病院のリハビリテーションセンターではリハビリテーション科指導医1名を含め、総勢50名弱の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、看護師、事務職員が協働してリハビリテーションに従事しています。分時単位で変化する急性期患者さんの病態に的確に対応するため、主治医、リハ医との緊密な連携のみではなく病棟看護師の申し送りやカンファレンスにも積極的に参加しています。またNST、ICT、RST、褥瘡ケア、緩和ケア、摂食嚥下、精神科リエゾンチーム等のチーム医療メンバーとしてリハビリテーションの視点から活発な多職種連携を行っています。向上心、向学心に燃えた仲間の輪にあなただけではありませんか。



尼崎だいまつ病院 リハビリテーション科指導医 南部 誠治

尼崎だいまつ病院ではリハビリテーション科指導医を中心に、総勢100名近くの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が多職種協働でリハビリテーションに従事しています。尼崎だいまつ病院には回復期リハビリ病棟、障がい者病棟、地域包括ケア病棟があり、また訪問看護、通所リハビリにも力を入れています。同敷地内には介護老人保健施設もあります。リハビリテーション専門職として回復期～生活期全般を経験することができる環境です。難病の患者さんも多いので障がい像を把握することが難しい事もありますが、やりがいのある職場だと思います。私たちと共に、地域に必要なリハビリテーション医療を提供していきましょう！



Physical Therapist

理学療法士

Professional として Generalist から Specialist へ

スキルアップに必要な、 多岐にわたる経験ができる環境です。



理学療法士
十河 翔太

出身地：大阪府高槻市
出身校：関西医療技術専門学校
趣味：登山

愛仁会グループに入職し、急性期、回復期、生活期の3施設を経験させていただきました。それによって、患者さまが入院され退院し地域に戻れるまで携わることができ、患者さま一人ひとりに必要なことが多岐に渡るということ、幅広い視点を養う必要があるということを学びました。それぞれの病期での経験から私が感じたことは、患者さまが安心して地域に戻れるためには、各施設が連携を取り情報を共有できる体制がとても重要だということです。

Comments by the others

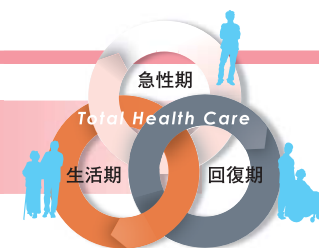


退院後の生活を早期に捉え、患者さまやご家族が病院から地域生活に不安なく戻れるよう、多職種が連携してサポートする「チーム医療」をすすめています。それぞれの専門性を発揮し協働することが患者さまのADL、QOL向上に大切だと思っています。
—看護師 岡島 尚子—



ケアマネジャーは、患者さまの在宅生活を支える職種です。患者さまが入院中より、病棟の多職種と連携をとり、退院支援をさせていただいております。中でも退院後の自宅環境や日常生活の安全を考えるうえで、リハビリテーションスタッフとの連携は重要になります。
—ケアマネジャー 志場 幸子—

Total Health Care



Yes! やりがいがあるから、がんばれる。

急性期 |

小西 彩香 (高槻病院)



急性期の大きな魅力は、病気やケガで治療を受けている人の理学療法も治療の一つとして早期から開始できることです。急性期は、再びその人らしい生活に戻れるようになるためのスタートラインであり、その人達の機能や能力の回復を日々実感できるのは急性期ならではの魅力です。たくさんの方が「ありがとう」と笑顔で退院される姿を間近で拝見できるのは何よりも「やりがい」を感じる時です。

回復期 |

重盛 大輔 (愛仁会リハビリテーション病院)



回復期病院では、患者さまが安心して生活期へ退院できるよう、支援を行っています。そのために直接自宅の環境を確認するなど家族さまと密接に関わり、多職種と積極的に連携しながら基本的動作の獲得を図っていきます。入院中に患者さまのADLが向上し、次第に元気になっていく姿を間近で感じることができ、日々の仕事に大きなやりがいを感じています。

生活期 |

外間 志典 (介護老人保健施設ケアイ)



在宅での生活に不安を感じている高齢者やそのご家族さまに、どのような支援を行えば不安が解消できるのかを考え、実践していくことに努めています。生活期では病院と比べて1回の介入時間は短くなってしまいうえ、利用者さまの全体像を捉えたいうでのアプローチが必要になります。その結果、「ありがとう」や「楽になったわ」などの声をかけていただいたり、笑顔になってもらえた時は、とても嬉しい気持ちになります。



患者さまのために考え、努力し、実践することで自らも成長

重度心身障がい者病棟で、難病や脊髄疾患等の重度障がい者を担当しています。

身体機能回復や日常生活獲得に向けての訓練だけでなく、住宅改修や福祉用具選定などの環境面へのアプローチや、今後の生活を想定した家族指導も行っています。患者さまの生きがい・家族さまの想いに耳を傾け寄り添いながら、作業療法を行っていくよう努めています。

作業療法士
小川 理沙

出身地：兵庫県尼崎市
出身校：大阪医療福祉専門学校
趣味：ランニング



Total Health Care



Yes! やりがいがあるから、がんばれる。

急性期

石本 恵一 (高槻病院)



どんな疾患でも発症直後は、心身ともに“自分らしさ”とはかけ離れた場所にいると感じることが多いようです。急性期の作業療法では、発症直後からその人がこれまで営んできた作業、これから営んでいく作業を通して再び“自分らしさ”を取り戻していけるよう支援させていただいています。患者さまの作業療法のスタートに携わり、回復過程に関わることができるのは非常に貴重な経験であり、やりがいの一つであると思います。

回復期

茂籠 啓太 (尼崎だいまつ病院)



回復期は、患者さまが一番変わることのできる時期だと思います。患者さまに関わるなかで自分にどのような力添えができるかを深く考え、プログラムを提供していくことには責任を感じ、悩むことと思います。そのなかで患者さまやご家族の方に「良くなったよ」と声をかけていただいたときにはやりがいを感じます。そんな回復期病院で、作業療法士として患者さまにその人らしい生活を送っていただけるよう考え悩んで、その時々自分の全力で患者さまに介入できるように一緒に頑張っていきたいと思います。

生活期

今井 恵土 (介護老人保健施設だいまつ)



住み慣れた街で、在宅生活を継続していただけるよう多職種と連携しながら、日々業務に取り組んでいます。日常生活での困りごとなどを相談していただくと、作業療法士としては嬉しいですね。皆さまそれぞれに生活スタイルや価値観を持っておられますので、その方に合わせた解決策を考えていくのも、勉強になります。ご自宅を訪問させていただくことも多く、生活に根付いた作業療法が実践できると思っています。



MSWは入院中の患者さまの不安を取り除き、できる限りその人らしい生活が送れるように支援しています。カンファレンスに参加し、リハビリテーションスタッフと連携を図ることで情報共有を行っています。
〔社会福祉士 遠藤 真由美〕



“再びその人らしい生活”にの理念のもと、日頃から患者さまやリハビリテーションスタッフとコミュニケーションを密にして情報を共有することで、患者さまの生活全般を多方面から捉え、ADLを高めることができるのは専門病院の強みです。
〔介護福祉士 左居 郁子〕

チーム、先輩、手厚い教育研修が、
学びをサポートしてくれる。



言語聴覚士
生田 匠

出身地：高知県
出身校：高知リハビリテーション学院
趣味：フットサル、サッカー観戦、映画鑑賞

当法人に入職して3年が経ちました。入職当初より臨床で悩むことが多かったのですが、同じチームの先輩や教育研修科の手厚いサポートもあり、そのたびに乗り越えることができました。現在、新入職員を指導する立場となっていますが、まだまだ経験も浅く、知識も十分とは言えないため、自分も一緒に考え、学びながら共に成長しようと努力しています。今後も言語聴覚士として、さらに成長できるよう自己研鑽を積んでいきたいと思っています。

Comments by the others



臨床工学技士は、日々使用する各種医療機器の保守・管理や、病院内の医療機器だけでなく、入院患者さまの人工呼吸器の保守業務も行います。リハビリテーションスタッフも含めて多職種の方が安全に医療機器を使用できるように努めています。

「臨床工学技士 三好 春佳」



リハビリテーションの効果を最大限に発揮できる栄養サポートを目指し、運動の負荷量、摂食・嚥下障がい課題などを多職種と協議し、チームとして患者さまの栄養管理に関わっています。

「管理栄養士 木村 多恵子」

Total Health Care



Yes! やりがいがあるから、がんばれる。

急性期 |

依屋 章則 (高槻病院)



言語聴覚士へのニーズは年々高まっており、急性期の新生児から成人まで、対象疾患も多様で多くの経験を積むことができます。機能障害だけでなく患者さま全体をみつめ、関連職種と積極的にコミュニケーションをとり、責任感をもって仕事をするを心がけています。「ありがとう」と「笑顔」が最もやりがいを感じる瞬間です。

回復期 |

田上 優子 (尼崎だいもつ病院)



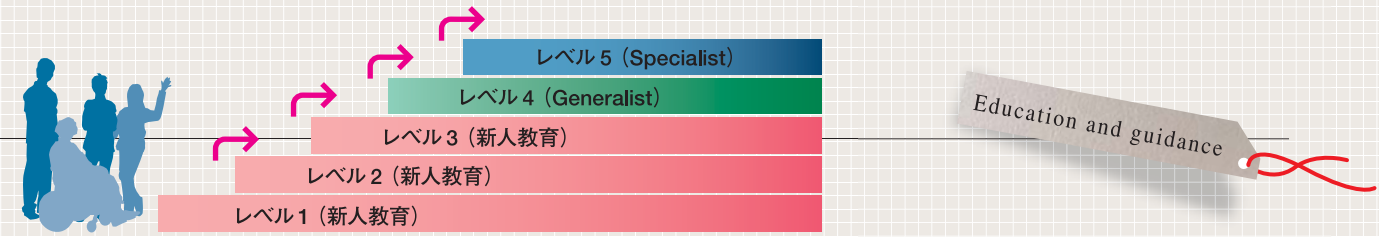
治療期間を経て、集中的に言語聴覚療法を行うための回復期。言語聴覚士として患者さまが安全に食事できるよう VE や VF にて検査を行い、機能面だけでなく環境も考慮した上で食形態や摂取方法を決定して訓練を行います。食べることが難しいとされていた患者さまが、少しずつでも摂取できるようになってきた時にはとても嬉しくやりがいを感じます。患者さまの家族とも協力して退院を目指すというのは、回復期ならではの醍醐味ではないでしょうか。

生活期 |

吉田 由美 (高槻在宅サービスセンター 訪問リハビリテーション科)



利用者さまのあたたかい笑顔や、利用者さまを支えるご家族の強い絆にたくさん出会って日々を送っています。長年気管切開で経過され、声を出すことや、口から食べることができない生活がされていた利用者さまが在宅での訓練により、「こんにちは」と挨拶をされたり、ご家族とゼリーを嬉しそうに食べられる姿には、元気をもらえます。病院では見ることのできない家庭のあたたかさや安心感を感じる、素晴らしい経験のできる場であると思います。



Professional として Generalist から Specialist へ

新人教育【レベル1～3】

Generalist【レベル4】

Specialist【レベル5】

レベル1	指導のもとに各療法が行える	レベル4	分野を限定しない広範囲な知識・技術・経験を有する人	レベル5	特定の分野において高度な知識・技術・経験を有する人
レベル2	独力で各療法が行える	達成基準	<ul style="list-style-type: none"> 1. 愛仁会グループリハビリテーション部門教育ガイドラインにおける新人教育が修了している。 2. 急性期・回復期・生活期に該当する施設に各1施設以上の勤務経験がある。 3. 愛仁会グループリハビリテーション部門教育全項目について「独力で可能」の評価がされている。 	達成基準	<ul style="list-style-type: none"> 1. Generalistの認定がされている。 2. 療法士としての専門領域に関連した資格を取得している。
レベル3	独力で各療法が行え、学生や後輩の指導補助が行える				

© 3年間で新人教育項目が独力でできる事をめざします

各病期における目標

- 達成基準
- 1. 愛仁会グループリハビリテーション部門教育ガイドラインにおける新人教育の全項目について「独力でできる」の評価がされている。
 - 2. 各種能団体の新人教育プログラムが修了している。

障がいの予防

機能分化された現在、単施設のみでは、患者全体の縦断的な

障がい像が把握できない

専門職として「障がい」をみるためには、専門職として一連の流れを経験することが重要

障がいの軽減（残存能力の活用）

教育・指導における内容 1. 集団研修 2. 技術・臨床姿勢の向上 3. 研修会の企画 を教育研修の軸として実施しています

集団研修



研修を通じて知識レベルの向上を図るとともに、各年次や役割に応じた段階的なステップアップを支援します。

技術・臨床姿勢の向上

OJT on the job Training



教育研修科スタッフが、入院時の多職種合同評価、定期カンファレンス、患者治療、訪問業務など実際の業務の中で、セラピストに対し、専門職として入院から退院までの流れが円滑に行えるように、専門性、チーム連携の取り方、接遇についての指導を行います。

新人職員研修では多職種での研修を行っています (PT・OT・ST・Ns)



NST・褥瘡について：座圧と褥瘡リスク（座圧センサーを用いて）



摂食嚥下体験：頸部角度の違いによる嚥下体験

Generalist から



井上 知哉 (理学療法士)

臨床では多くの患者さまと関わりますが、お一人おひとりの全身状態、活動、参加、個人因子、環境因子は多岐に渡るため、幅広い視野と視点が必要です。多くの病期を理解することによって、よりその方に合わせた最善の理学療法・作業療法・言語聴覚療法を提供することが可能となります。

Specialist から



山本 健司 (理学療法士)

Specialist とは、特定の分野において高度な知識・技術・経験を有する人を指します。愛仁会グループでは、急性期・回復期・生活期での幅広い経験を生かして、自分の得意分野・専門分野を追求することも可能です。

信頼される医療人として。仕事もプライベートも日々充実。

WLB (ワーク・ライフ・バランス)



愛仁会リハビリテーション病院写真部の活動風景

休日には、リフレッシュを優先。



仕事一辺倒にはならず、休日には家族と出かけたり、職場の同僚と自転車でツーリングや野球観戦をしたりして過ごしています。仕事とプライベートのバランスを取りながら、いい循環を作っています。

坂口 勇貴 (理学療法士)



患者さまと良い関わりを持つには、心身ともに健康でいることが大切です。ここはチームワークがよく効率的に業務が行えるので、健康的な生活を送っています。職場仲間とのフットサルの活動、明石のタコ釣り、琵琶湖のサイクリング、マラソン大会への参加など同僚との交流も楽しんでいます。

松尾 泰直 (作業療法士)



休日は友人や家族との旅行や院内のスタッフとも趣味を楽しむことができます。また、院外の学会や勉強会にも積極的に参加することができる環境です。休日の過ごし方は人それぞれではありますが、適度な息抜きは質の高い医療を提供するために必要であると考えています。

米田 哲也 (理学療法士)



子育ても仕事も。両方がんばってる人、たくさんいます。

楽しく子育てできてます。



愛仁会では、短時間勤務やワーク・ライフ・バランスに合った勤務形態をとりながら、多くの経験を積んだママさんセラピストが各施設で活躍しています。子供の突発的な病気でも休まなければならないこともありますが、周囲の理解と恵まれた環境に支えられながら、仕事と子育ての両立に日々奮闘しています。

岡部 由美加 (理学療法士)

子育て支援

子育てしながら働ける環境です。

ワーク・ライフ・バランスを実現する働きやすい職場環境です。多様な業務形態があり、育児短時間勤務や介護休暇など、子育て中や介護が必要な家族がいる職員にも働きやすい制度を導入しています。



福利厚生

愛仁会グループに勤務する職員の福利厚生の充実を図る目的で職員共済会「親愛会」があります。その一つの福利厚生サービスとして「ベネフィットワン」に加入しており職員と職員の2親等までが様々なサービスを受けることができます。例えば飲食店やレクリエーション施設、宿泊施設、フィットネスクラブなどで優待を受けることができることや結婚・出産時に申請することで様々なサービスを受けることができます。また、会員制高級リゾートホテル(エクシブ)の利用もでき、余暇を楽しく過ごすためのサポートが充実しています。育児に関しても院内保育を利用できる施設もあり安心して育児をしながら働ける環境が整っております。



Recruit

リクルートサイト

<http://www.aijinkai.or.jp/bosyu/pages/index67.html>

愛仁会 リクルート

検索

愛仁会リハビリテーション病院と尼崎だいち病院はFacebookを利用しています



愛仁会リハビリテーション病院

検索

尼崎だいち病院

検索

